

歴代大会賞受賞者

- 第一回 六三八句 講師成田千空先生
 八点漉舟のへりのささくれ冴返る 二本松市安齋伊七
- 第二回 六八〇句 講師中村明子先生
 二点漉紙の耳すこし反り日脚のぶ 大玉村柳田葆光
- 第三回 七三五句 講師平井さち子先生
 一〇点夜紙漉く父の手風呂の炭を継ぐ 二本松市安齋伊七
- 第四回 八〇九句 講師藤村多加夫先生
 九点下萌や地図に石置く測量士 釜淵町伊藤善長
- 第五回 八二〇句 講師藤村多加夫先生
 一五点紙を漉く父にもらひし大きな手 本宮町大塚正路
- 第六回 八七九句 講師奈良文夫先生
 九点ひと日つつ母となる日の紙を漉く 天栄村森酒郎
- 第七回 一〇二七句 講師中村弓子先生
 七点紙漉の水の切れよき朝ざくら 天栄村森酒郎
- 第八回 一〇二〇句 講師藤村多加夫先生
 七点後継ぐと言わず休日楮はぐ 二本松市野地千鶴女
- 第九回 一三三二句 講師藤村多加夫先生
 六点まんさくや空の広さへ牛放つ 二本松市遠藤蕉魚
- 第十回 一七二〇句 講師成田千空先生
 九点釣銭で買ひ足してゐる花の種 福島市水上悦子
-
- 第十二回 一八〇〇句 講師伊藤松風先生
 七点郭公やいるだけでいいちちとはは 二本松市安藤悦子
- 第十三回 一八三〇句 講師茨木和生先生
 八点着ぶくれて欲深そうになりにけり 二本松市安齋かつに
- 第十四回 一五七五句 講師鈴木正治先生
 六点馬飛の馬のつぶれる小春かな 二本松市梅澤ふみ子
- 第十五回 一八三二句 講師鍵和田柚子先生
 十三点下駄箱に深く黙礼卒業す 南会津町柏倉清子
- 第十六回 一五二四句 講師森川光郎先生
 二十点宇宙への汽車が来そうな霧の駅 村上市斎藤謙歩
- 第十七回 一八九六句 講師正木ゆう子先生
 十七点天折のそうして雪になってゆく 福島市渡邊文子
- 第十八回 一四二五句 講師伊藤仙女先生
 該当者なし
- 第十九回 一七七九句 講師高野ムツオ先生
 十四点斑野に被曝の牛として鳴けり 福島市鈴木漱玉
- 第二十回 一六四七句 講師野木桃花先生
 十七点良き筆に出会へと祈り紙を漉く 喜多方市江花修
- 第二十一回 二三三三句 講師宇多喜代子先生
 十五点三・一一夕日しばらく海にあり 二本松市高橋ゆたか